

**製品名: SSRP1 ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe04000**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン (pH 7.4)、0.15M NaCl、40% グリセロール、0.01% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質を含む液体。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:1000
分子量	Calculated MW:81 kDa;Observed MW: 81 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	SSRP1
別名	FACT; T160; FACT80
遺伝子 ID	6749.0
SwissProt ID	Q08945
免疫原	ヒト SSRP1 の合成ペプチド

**背景**

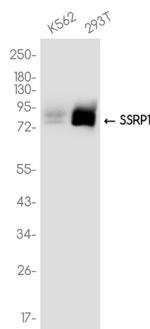
ヌクレオソームを再編成する働きをする一般的なクロマチン因子である FACT 複合体の構成要素です。FACT 複合体は、mRNA 伸長、

DNA複製、DNA修復など、DNAを鋳型として必要とする複数のプロセスに関与しています。転写伸長中、FACT複合体はヒストンシャペロンとして働き、ヌクレオソーム構造を不安定化させると同時に修復します。ヌクレオソームからヒストンH2A-H2B二量体の解離を促進することでRNAポリメラーゼIIの通過と転写を促進し、続いてRNAポリメラーゼIIの通過後にヌクレオソームの再構築を促進します。FACT複合体は、CK2（カゼインキナーゼII）との会合を介して、p53/TP53の「Ser-392」のリン酸化にも関与していると考えられます。二本鎖DNAに特異的に結合し、抗腫瘍剤シスプラチンによって修飾されたDNAにも低レベルで結合します。修飾DNAの複製および修復を阻害することにより、シスプラチン誘導性細胞死を増強する可能性がある。また、p63/TP63の転写共活性化因子としても作用する。

## 研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

## 画像データ



SSRP1抗体を使用したK562、293T溶解物中のSSRP1のウエスタンプロット分析。